

第三者評価結果

①第三者評価機関名

エイ・ワイ・エイ研究所

②施設・事業所情報

名称：剣崎デイサービスセンター	種別：通所介護
代表者氏名：理事長 南 芳則	定員（利用人数）：45
所在地：石川県白山市剣崎町1488番地	
TEL：076-275-6915	ホームページ： http://www.fukujuukai.jp/kenzaki_day/

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2005年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等） 社会福祉法人 福寿会		
職員数	常勤職員 7名	非常勤職員： 9名
専門職員	（専門職の名称）介護専門員	名
	名	名
	名	名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）

③理念・基本方針

「福祉の心を社会のために」 私たちは施設を利用される方の個人の尊厳を保持し、日々充実した生活を送られるよう支援します。
--

④施設・事業所の特徴的な取組

現在午前中のレクについては選択できるように5～6種類のメニューを用意し、興味のあるものを 選択し自由に作業できるように工夫をしている。 今後は、自発的に何かをできるようなスペースであったり、メニューを考える予定。
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年1月31日（契約日）～令和2年4月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	平成26年12月

⑥総評

◇特に評価の高い点

■ 年1回、県の介護サービス事業所自己チェックリストに基づき、運営上の自己点検を行っている。又、5年毎に第三者評価を受審し、福祉サービスの質の向上に取り組んでいる。

■ 地域貢献活動に関する方針を中・長期計画に明示し、隣接ケアハウスと合同でティールーム剣崎（年2～3回、利用者家族・地域住民との交流事業＝座談会、福祉相談、介護技術講座、認知症サポーター養成講座、デイサービス体験、雑貨作り等）を実施している。町内会と災害時の相互支援に関する覚書を交わしたり、まちづくり活動（夏祭り、奉仕作業等）にも積極的に参加・貢献している。

■ 理念に「個人の尊厳を保持」を明示し、毎年度初めの全体会議で職員への説明・周知を図っている。又、毎年度末に法人全体で人権擁護研修（外部講師）を実施し、職員への意識づけを図っている。利用者の尊厳に配慮し、様々な場面（送迎、入浴、排泄等）で個別的な対応を行っている。

■ 自立支援介護介護の考え方を反映し、主に午前中に運動（テレビ・ラジオ体操、平行棒を用いての立位・可動域訓練等等）に取り組んでいる。希望者にはリハビリ専門職の指導・計画の下、運動機能向上・個別機能訓練に取り組める体制（週4日、OTの配置）を整えている。

◇改善を求められる点

■ 中・長期計画の内容を踏まえ、単年度の事業計画（運営計画）を策定している。運営計画は1日の平均目標利用者数やデイ部門の重点事項を明示した内容となっている。今後、運営計画については、より数値目標化する取り組みが期待される。

■ 所長の役割・責任を分掌事務分担表に明示している。有事の際の所長不在時の権限委任についても文書化されている。所長は運営計画作成時に、次年度の方向性等を職員に示している。今後、所長の思い・事業所の方向性を年度初めの広報誌で利用者・家族に表明する取り組みが期待される。

■ 基本的な各介護マニュアルを整えている。又、利用者の一人ひとりの身体状況・要望等を考慮した注意事項一覧表（送迎、入浴、排泄等）を整備・職員に周知し、個別対応を図っている。今後、基本的な介護マニュアル内容に沿ってサービスを実施しているかを定期的に点検・確認する取り組みが期待される。

■ 家族とは連絡帳を用いたり、送迎時に状況を伝えながら連携を図っている。緊急を要する場合は、電話で連絡・報告している。送迎時等に家族の相談を受けた場合は経過記録に残し、職員間での情報共有を図っている。今後、家族とのやりとり・話し合いの内容を記録にも残すことを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

運営計画においては数値目標のみ記載してあるが今後具体的に3～6か月ごとの数値目標といたったより細かい目標の設定を行うよう改善をしていく。年頭の挨拶をデイだよりに乗せているが今後の事業所の方向性なども明記できるようにする。個別のマニュアルについては定期的に評価を行えるようなシステムの構築をしていく。日常の会話や緊急時などの連絡、報告については個人のケースに記録として残すよう改善をしていく。今回指摘のあった部分については随時改善を行い、より細かなサービスが提供できるよう家族、関係機関との連携を深めながら今後努力していきます。

⑧評価細目の第三者評価結果（別添）